

全日本サーフキャスティング連盟 大阪協会 2 月度理事会議事録

平成 23 年 2 月 16 日（水）午後 7 時～

於：大阪産業創造館 6 階会議室 E 出席クラブ 39 クラブ(欠席 2 クラブ)

池田協会長挨拶

- ・初釣り大会無事終わりましたが、気候が寒い中でしたので釣果の方はあまり良くありませんでしたが、今後は暖かくなり期待できると思います。
- ※議事に入る前に、昨年度における連盟年間表彰関係の賞品授与を行った。
- ・藤原副会長を議長として 19 時 17 分議事に入る。

第 1 号議案 全日本サーフキャスティング連盟新年総会報告（協会長）

（連盟議事録より転載）

平成 23 年度新年総会議事録

日時：平成 23 年 1 月 30 日（日）午前 12 時 04 分～14 時 30 分

場所：新大阪ワシントンホテルプラザ 2 階会議室（老松）

■総会成立要件の報告

大田事務局長より、本総会の出席者 53 名、委任状提出者 56 名、総会決議に同意 42 名、合計 151 名は全国理事（188 名）の過半数を超えており、規約にある総会成立要件を満たしていると報告がある。

注・理事数が昨年の年末総会より 1 名増えています。理由として渡辺兵庫協会長はクラブの会長で無いため議決権を有していなかったが、協会長に就任したためです。

■議長選出

大田事務局長より、議長就任の呼びかけをおこなう。出席者から事務局一任を受け、本部専任議長の池田大阪協会長を本総会の議長に指名した。

■池田議長

昨年の年末総会で 23 年度の日程など殆どの事項は決定しております。したがって本総会は会計事項を中心に審議を進めます。尚、発言に際しては挙手の上、協会名・クラブ名・氏名を述べてからおこなってください。同時に、穏当性を欠く発言は議長から注意いたします。注意しただがえない場合は議場から退場していただきます。

■岩田連盟会長挨拶

皆様あけましておめでとうございます。本年も何とぞよろしくお願いいたします。景気の不安定もあって会員増に歯止めが掛からぬ現状です。しかし、会費を以って運営が基本の組織であります。今後も会員増には努めてまいります。現状の運営とそれに伴う費用も見直すのが先決となってきております。基本的には、全体において会員の士気を失わせるような見直しは考えておりませんが、我慢できるものには儉約を図る所存です。したがって今期連盟会議では、それらが中心の審議となりますが何とぞよろしくお願いいたします。

注・総会資料（平成 22 年度事業報告ほか）は、本日の出席者全員に配布と全国のクラブ会長に 1 冊配布いたします。出席協会長さんにはお手数ですが、本日お持ち帰り願います。尚、欠席の協会長さんには事務局から郵送いたします。

■平成 22 年度事業報告 大田事務局長

平成 22 年度の報告事項は総会資料 2～8 ページに表しています。大きな項目として「入会の緩和策」がありますので、以下にご説明いたします。

- ①クラブ登録を 5 名から認める。（復帰者編入も可）
- ②協会設立は 2 クラブ以上とする。
- ③初年度に限り連盟会費を免除する。但し、一人一回とする。
- ④準会員制度として 2 年間に限り、全日本サーフ会員として活動を認める。
- ⑤準会員の期間満了後は正会員として登録しなければ期間中の活動記録は失う。

■平成 22 年度会計報告

- ・本部会計 野村会計部長
45 周年の記念事業では余剰金が発生しているが、それ以外ではマイナスとなっている。また、連結（本部会計・大物・SC・資材）収支では本部会計以外の部署がプラスであったため、収支五分五分であります。
- ・大物部会計 としだ大物部長
写真・認定書などの申請緩和方式も作用して大物部においてはプラス決算であります。
- ・SC 部 松井 SC 部長
SC 部もプラス決算であります。
補足（全キス・カレイの副賞としてラインの購入を凶ったのもプラスの一因にある）
- ・資材部 蔦資材部長
収入金額が増えていますが、原因は 22 年度から全日本サーフ推奨品としたライフジャケットの注文が多くあったためです。また、ネームシールですが注文単位は 30 名となっているが 3 月末までの注文分は単位の設定はおこないません。
- ・企画部（キス段位制） 企画部長病欠につき、大田事務局長代読
報告書作成時の入金状況により、本部会計から借り入れをおこなった。しかし 1 月に本部会計と清算をおこなったので収支に影響はしておりません。

■資産報告

連盟会長・各部署

注・事業報告書を参照願います。

■監査報告

木村監査役、宗貞監査役の二名を代表して木村監査役より、関連部署から帳簿・領収書その他関係書類一式の提出を受け、平成 23 年 1 月 9 日「新大阪丸ビル会議室」において精査した。その結果すべて適正に処理されていることを確認した。よって本日の総会に於いて報告いたします。

注・関連として木村、宗貞の両監査役より、22 年度を以って退任するので、これまでのご厚情に謝意表明がある。

■質疑

- ・前島鳥取協会会長
監査役の退任要請は連盟会長からですか。また監査役の選任方法は他の役員と同じですか。さらに役員の前島鳥取協会会長の任命および退任については常任理事会の承認で決定されるものではありませんか。
- ・連盟会長
本部役員は連盟会長が任命し、常任理事会の承認を得るとなっています。退任についても任命者の責任分野においておこなっております。但し、常任理事会に報告することは当然に思います。
- ・前島鳥取協会会長
了解しました。

■各部署報告

- ・渡辺環境部長
クリーンアップ事業は計画通り全協会でも実施していただいた。その内 7 協会は複数回の実施していただいた。また、協会として事業に取り組む姿勢を協会長に表明していただきました。内容についてはホームページに掲載しております。
- ・谷後事故防止部長
 - ①平成 22 年度協会別事故防止講習会開催状況を資料に表しております。尚、受講者についてここ数年減少傾向であります。
 - ②昨年の事故は三件あり、いずれも重大事故ではなかったが、各協会とも事故防止の啓発および講習会の開催を一層凶ってください。
 - ③事故防止規定の一部改正をおこなっている。詳しくは報告書の 13 ページを参照願います。
- ・渡部広報部長
 - ①全日本サーフの活動を紹介するリーフレットを作成・配布してから二年が経過しております。

そろそろ設置場所に不足も出ていると思われます。再点検の上、必要な数量を広報部まで連絡願います。

- ②岳洋社の新刊に会員募集のコーナー掲載してくれる件と、本日の懇親会に出席されるテレマックさんから会員募集に繋がる資料の提供がありました。詳しくは懇親会でお尋ねください。
- ③全キス・全カレイの速報届けにおいて釣り場責任者さんから優勝と思われる方の写真を送っていただくよう要請しています。速報時点では確定で無いということで、公開は控えますが、最長寸を釣られた方はすべて優勝しており、全国版ともなります。したがって撮影時は身だしなみに配慮して臨んでくださるとありがたい。

■承認

池田議長より、本部会計（連結収支）および各部署の会計ならびに報告事項について承認要請があり、拍手多数により平成 22 年度の各事項は承認された。

-休憩-

■平成 23 年度事業計画

- ・事務局 大田事務局長

①23 年度の行事日程について総会資料に基づいて説明がある。例年と同じく行事に特に変わった部分はない。詳しくは事業報告書を参照願います。

②会員登録用の CD は 2 月末日が提出期限です。修正箇所にご注意願います。

- ・環境部 渡辺環境部長

①昨年はホームページに対するフォーマットが上手く出来なかったもので、改良する。

②ゴミ回収に行政との交渉が難しい面があるように見受けられる

③各協会の環境部と意思疎通がスムーズに運べるようにしたい。

④クリーンアップの実施報告書を統一書式に作成した。これに横断幕を掲げた写真を貼り付けてほしい。尚、報告書の提出は実施後二週間以内をお願いします。

⑤各協会とも平成 23 年度クリーンアップの実施日を決定次第連絡願います。

- ・企画部（キス段位制） 大田事務局長

段位獲得競技会でメーカーさんの日程（報告書参照）が報告する。中で二社の競技会が全日キスと同一日になっている。この場合、全日キスの受付からメーカーさんの受付に臨むまでは連盟大会ルールを遵守してください。また審査は定められた時間に審査魚を本人が持参して提出してください。

注・メーカー競技会での釣魚および本人以外の提出は失格となります。

- ・大物部 としだ大物部長

①日本記録魚の申請に関連し、《日本記録賞》《日本記録魚申請の方法》《日本記録魚承認の方法》の規約を一部改正したいので、内容を記した資料を配布します。

注・詳しくは協会長さんに尋ねるか、近々ホームページ記録紹介のコーナーに掲載するので、こちらで確認してください。

②歴代日本記録魚の魚拓（15 件）紛失ですが、追跡調査の結果、手持ちの魚拓をお借りすることができた分についてはすべてコピー後にラミネート処理を施した。

尚、4 件については本人が退会しており、以後の消息も不明につき不可能であった。

- ・池田議長

23 年度的全日キス（PT 高知協会）および全日カレイ（PT 徳島協会）の両協会長は何か報告事項はありますかとの問いに、両協会長とも特に無いとのこと。

■収支予測

- ・会計部 野村会計部長

今年度も例年通りの事業運営だと本部会計は大幅なマイナスが予測される。しかし、連結収支では、大物申請数次第ではあるが、若干のプラスになる見込み。

- ・大物部 としだ大物部長

大物部は大きな支出は無いので、マイナスにはならないと思う。したがって繰越金についても増えると予測している。

- ・SC 部 松井 SC 部長

マイナスにはならない見込みです。但し、S C 用具購入の必要が生じた場合は繰越金が減ると思います。

- ・池田議長

それでは 23 年度事業計画ならびに収支予測について質疑を受付いたします。

■質疑

- ・藤原岡山協会理事代理

先ほど大物部から規約改正説明のあった中で、日本記録魚の魚拓は複数枚採ることになっているが、昨年 of 年末総会の審議と違うのではないか。

- ・連盟会長

複数枚必要の件は私が指示した。やはり日本記録魚の魚拓ともなれば連盟の各種行事、特に周年行事には展示したい。連盟に無いとなればその都度会員に借りるしか無い。退会なども考慮すると何かと支障がある。したがって複数枚採っていただき、申請魚拓は連盟所有としたい。この点ご賢察のうえ、ご理解ください。

- ・木村中部協会会長

①収支予測の中で、台湾遠征費が計上されていないが、遠征を中止したのか。

②大物申請数の予測で、今年度は 24000 件となっているが各協会会長さんは自協会での程度予測しているか。また予測数に近づけるには、大物部から各協会会長まで事前に調査すれば良いと思う。

③関連として会員数も事前調査で把握できると思うが、大田事務局長にお答えいただきたい。

- ・連盟会長

台湾遠征費だけでなく投げ釣り手帳の支出についても 24 年度と勘違いしておりました。したがって 23 年度は例年通り計上いたします。しかし、本日の総会で予算案通りと採決することに問題はあります。

- ・岡田愛媛協会会長

台湾との交流について、昨年愛媛で歓迎会を催したが、連盟からの支出が大きいとお叱りを受けた。収支報告書に表していない経費も随分とあり、それらはすべて個人負担になっている。また、お金以上に役員の方には三日も四日も仕事を休んでのお世話を考えると交流はやめた方が良くと思う。

- ・連盟会長

交流自体をやめると言うことになれば行事の案内も出さず、遠征自体もやめることに通じる。私の考えは遠征の当初目的は、現在では達成されたと思う。したがって、予算逼迫のおり、連盟として遠征に伴う補助金の支出はやめる。また、基本が競技に参加なのだから自費で行ってくださいと言うことです。行事案内については個人と違い、組織としてはいきなりの不案内はできないので従来通りおこなう。案内に伴い先方の意思で来日と言うことになれば礼を失しない程度の接待は必要に思う。

- ・菅原北海道協会会長

台湾遠征を続けている一人として連盟会長の言う、儉約してでもお付き合いは続ける答弁にありがたく思います。

- ・大田事務局長

木村中部協会会長質問の会員数事前調査の件ですが、調査には各協会会長の手を煩わせる割には正確さに欠ける。その上で、会員数の事前予測は過去の例として 3%~5%の間で推移している。したがって、調査をおこなう必要性も感じない。

- ・としだ大物部長

同じく大物申請数についても、過去の推移で予測はできる。申請数の事前質問など各協会会長も戸惑うと思う。

- ・岡田愛媛協会会長

そのようなおかしな質問より、報告書を協会に持ち帰り、自協会の数字を見て、会員数・申請数ともに少ない協会は頑張ろうと話せば良いことだ。

- ・町田千葉協会会長

報告書にある大物収支予測で、申請料と件数が合致しないのは何故ですか。

- ・としだ大物部長
301号以上の表彰については50号刻みの楯表彰となるので両者は合致しません。
- ・町田千葉協会会長
了解しました。
- ・前島鳥取協会会長
会員数については各協会とも年末の会議で大方の数字は掴めると思うが。
- ・池田大阪協会会長（この事項、議長の任を解く）
年末に新規設立や解散のクラブおよび個人の入退会者の報告でもあれば、ある程度の予測も立つが殆どの場合、新年度を待たなければ掴めないと思う。したがって、予測するのに無理がある。
- ・連盟会長
年末に限らず会議自体を開催していない協会もあると聞くが、これでは予測以前のことに思う。
- ・木村中部協会会長
大物申請に関しては、大物還付金の協会別一覧を連盟または大物部から詳しく説明することによって自協会の位置などが認識できると強く感じたのが質問の動機であった。
- ・連盟会長
木村協会長のご指摘は、会員さんに対して発奮材料になり尤もと思います。しかし、本会では報告書の還付金明細を拝見いただき、その部分をコピーし、機会を捉えて協会長さん自身が会員さんに向けておこなうのが役割ではないかと思えます。
- ・木村中部協会会長
了解しました。
- ・連盟会長
事業報告書の中に、渡船業者に関する問い合わせ先を県別にした一覧表があります。この資料は前島鳥取協会長から提供いただいたものです。各協会とも活用されてください。
- ・前島鳥取協会会長
電話番号については変更している可能性もありますが、お役に立てれば幸いです。
- ・野村会計部長
先ほどの台湾遠征補助金支出は急ぐので採決をしてほしい。
- ・岡田愛媛協会会長
遠征メンバー毎年変わっているのですか。
- ・連盟会長
開催地が海外と言うこともあり、固定した方もいるが今年は二名初参加の方がいると聞いている。尚、連盟補助は金額および人数とも制約は設けている。
- ・松井SC部長
今年の遠征メンバーですが、菅原北海道協会会長・永松大分協会事務局長・同じく大分協会の会員さん一名です。

■承認

- ・池田議長
それでは台湾遠征費ならびに各部署の23年度収支予測（予算案）さらに事業計画について承認を求めます。賛成多数と認め本件は承認されました。
- ・野村会計部長
遠征費承認と言うことなので、収支予測・支出項目の遠征費用を追記する件と投げ釣り手帳の金額も修正願います。また、この修正により、23年度本部会計は大幅なマイナスとなるので一層の儉約を図ってほしい。尚、修正した23年度収支予測（予算案）は5月常任理事会に提出いたします。

■審議終了

- ・池田議長
以上で23年度新年総会のすべての審議を終了いたしました。

■各種表彰

- ・大物/SC の日本記録賞および各種年間表彰をおこなう。

注・表彰の詳細については事業報告書を参照願います。

■新協会長紹介

- ・兵庫協会長 渡辺敏夫氏 三ツ星サーフ所属
- ・北九州協会長 中島康彦氏 福岡サーフ所属

■閉会宣言

- ・大田事務局長
長時間の審議また、承認作業に大変お疲れ様でした。これをもちまして平成 23 年度の新年総会を閉会いたします。

■新春懇談会

- ・15 時 30 分から 2 階宴会会場「紅梅」にて会員さんおよび 22 社のメーカーさん、合計 90 名が参加し、新春懇談会を開催した。会場ロビーに展示していた日本記録魚の魚拓にはメーカーさんも一様に感嘆していました。

第 2 号議案 全日本サーフキャスティング連盟 2 月度本部役員会報告（協会長）

（連盟議事録より転載）

平成 23 年 2 月連盟（本部役員会）会議議事録

日時：平成 23 年 2 月 9 日（水）16 時 02 分～18 時 03 分

場所：新大阪丸ビル新館 3 階 307 号会議室

■審議 1

平成 22 年度本部役員 岩田連盟会長

- ・今年度の本部役員案の名簿を配布いたします。事故防止部長と監査役二名に交代があります。個々の内諾は得ておりますが本会に於いて改めて就任要請をいたします。

※新任・留任ともに就任を同意する。尚、承認は 3 月常任理事会で得る。

新任本部役員挨拶

- ・薬師寺事故防止部長
事故防止部長に推挙いただき、身の引き締まる思いです。安全釣行の旗振り役として頑張っておりますので、よろしくお願い致します。
- ・尾上監査役
昨年の全キスから、連盟会議に出席するようになりました。まだまだ不慣れな点がありますが、お引き受けした役職に全力を傾注いたします。

■審議 2

第 94 回全日本キス投げ釣り選手権大会 PT 高知協会

- ・吉永高知協会長
大会運営日程案と大会要項案を提出いたしますので、修正すべき部分がありましたらご指摘願います。
- ・宗貞事務局次長
日程案の中で釣り場責任者用に向けての書類発送が 6 月 1 日となっている。これは 6 月 8 日の大会参加報告の後の方が良いと思う。
- ・出席役員
宗貞事務局次長の提案だと日数の間隔が少ないことから、PT の作業は慌ただしいと思う。

※上記の件は、日程案通りとする。

- ・大田事務局長
PT と釣り場責任者間の書類往復には USB を利用しておこなうと思うが、前回（カレイ）使用の USB は返却されているのか。
- ・吉永協会長
ハイ、前回の PT より当方まで届いています。しかし、個数の確認はこれからおこなうので本日は不明です。

・連盟会長

USBには前回の大会情報が記載されたままだと思う。使い回しと言うことで、新たな大会の都度前回の情報を全て消去する煩雑な作業がある。また補充の必要なども考慮すると全日本サーフのホームページにある関連書類をEメールにて送受信する方法にすることを提案する。

※機会をみてそのように切り替えるとした。

・渡部広報部長

大会要項の中で表彰・2に他魚の採点方法として次の文言を追記していただきたい。「小数点第4位を四捨五入し、第3位までとする」

・薦資材部長

同じく改正された事故防止規定にある「釣り場での飲酒を禁じる」も注意事項に追記しておく必要がある。

※両件とも要請通り、大会要項に追記をおこなう。尚、ホームページの大会要項も同様に修正する。

・連盟会長

全日キスとメーカー(ダイワ・がまかつ)さんの競技大会が同日開催となっている地区がある。両大会に参加する会員さんは、全日キスの受付以後、メーカーさんの受付に臨むまでは全日キスのルールにしたがってください。審査についても、大会要綱で定められた時間内に本人が臨んでください。同様にラッキー賞となる審査票の提出も本人でおこなってください。

・三上北陸協会長

該当はダイワさんの富山(島尾海岸)会場です。両大会に参加する会員に便宜を図り、同会場に全日キスの受付・審査会場を設ける申請をおこないます。尚、全日キスに不参加の会員はメーカー大会の参加も認めません。注(連盟大会要項・注意2の項より)

■審議3

第34回東西選抜投げ釣り100人の会 PT本部/北陸協会

・連盟会長

開催は慣例として日本海側・太平洋側と交互でおこなっている。今や投げ釣り愛好者の間では東西100人会の競技会の一つの冠とされている。その一方で参加選手から『開催場所によってルールが異なる面があり、非常に困惑する。統一ルールにしていただきたい』との意見が多々寄せられる。本行事はメーカーさん及び友好団体さんとの親睦を図ると同時に、指摘は全日本サーフの威信にかかわることでもあります。それだけに競技ルールは統一したものにする必要がある。(以下は指摘です。※印は改善の内容です)

①競技ブロックの統一。

※予選は5ブロックとし、決勝は三ブロックに統一する。尚、1ブロックの長さも300mに統一する

②遠距離ブロックに配慮して競技の開始時間に余裕をいただきたい。

※遠距離の選手がブロックに入り終えたことを審判員が確認し、本部に連絡(携帯電話)する。競技開始の合図は連絡から5分以内におこなう。

③審判員にルールの熟知が感じられない。

※統一ルールブックを審判員に配布し、事前確認していただく。

④ルール違反者に対する注意を選手間でおこなうとトラブルに発展しかねない。したがって注意は審判員でおこなってほしい。

※そのようにする。

⑤表彰に時間が掛かりすぎる。

※昨年度から、ラッキー賞の進呈数に改善を図っている。

⑥同匹数者が多数いる場合の順位決定は競技会場で済ませておいてほしい。

※表彰会場の盛り上がりもあるので少数は表彰会場でおこなうが、大方は競技会場で決定させておく。

・野村会計部長

ゼッケンを東西色分けしては如何ですか。また、些少の余剰金も発生しているので参加費を下

げる必要はないか。

・連盟会長

ゼッケンの色分けは結構に思うので、そのように手配願う。参加費については、従来部屋の定員によってメーカーさん混合で同室としていた。しかし、諸事情を考慮し昨年、原則一社一部屋としている。今後も同様に配慮するが、その上で多くの余剰金が発生するようであれば各部分のグレードアップなどを図る。

・三上北陸協会会長

競技会場となる協会の会員も多くは選手として参加する希望が強い。しかし、現地運営スタッフの必要性を理解していただき、お手伝い願っている。したがってせめて食事面を本部負担でお願いしたい。

・連盟会長

行事スタッフ、特に競技審判員は補助員も含めて会場担当協会から選出願いたい。したがって朝食は選手と同じ弁当とし、昼食については表彰会場で食べていただいで結構です。但し、会場片付け等で表彰会場まで戻れないスタッフには弁当を用意いたします。

※現地スタッフの朝食弁当・昼食（ホテルまたは弁当）については用意の都合上、数量を事前に本部事務局長まで報告をしてください。

・三上協会会長

了解しました。現地スタッフはすべて北陸協会で選出します。

・としだ大物部長

各ブロックに入場する方法について確認したい。

・連盟会長

従来、選手は本部前に漠然と集合していたこともあり、出発時に混乱も生じていた。今年はプラカード（A～E）を製作したので、各ブロックの審判員が掲げる。したがって選手は該当ブロックのプラカード前に整列していただくようになる。出発は競技委員長の指示により、プラカードを先頭にしておこなう。ブロック入りは東西交互でゼッケンNo.の若い順とする。

■以上、100 人会審議の中で、①～⑥は従来大会規約に修正および追記を施し、3 月常任理事会に配布する。

■審議 4

その他

・薬師寺事故防止部長

役員承認前ではありますが、早々の取りまとめ事項として各協会の事故防止講習会開催予定をお知らせいただきたく書類の配布をいたします。尚、今期より協会事故防止部長名もご記入いただく欄があります。講習会は予定・決定に関わらず提出願います。尚、提出は下記の E メールアドレスに送信いただくと集計作業ははかどります。メール以外は 3 月常任理事会で提出または郵送でお願いします。s-yakushiji@maia.eonet.ne.jp

・としだ大物部長

新年総会の資料にある「2010 年度協会別大物申請 50～52 ページ」ですが、順位協会に間違いがあり、訂正した書類を配布いたします。該当協会にはご迷惑をお掛けしました。尚、ホームページは訂正したものが掲載されております。

・松井 SC 部長

現在力糸の在庫はありません。3 月早々には入荷しますので、注文協会さんには暫くお待ちください。

・帷企画部長

新年総会では腰痛のため欠席させていただきました。誠に申し訳ありませんでした。改めて本日 22 年度キス段位制の級位章をお渡しいたします。尚 22 年度申請の締め切り後に申請の協会があった。級位章を追加発注する是非をお伺いしたい。

・出席役員

申請自体は受理する必要はあるが、級位章の発注単位を伺うと多くの在庫になる。したがってお渡しについては 23 年度製作分と一緒にすることで了解していただく必要がある。

- ・ 帷企画部長
了解しました。該当協会にはそのように連絡しておきます。
- ・ 蔦広島協会長
現在 SC 会場として使用しているグラウンドの管理者の要望ですが、B コートの矩面と入り口の草を刈ってほしいとのこと。費用的に高額が予想されるので、協議願います。
- ・ 連盟会長
冒頭に経費節約を言った矢先ですが、草刈に要する費用が幾ら掛かるのか見積りを 3 月常任理事会に提出してください。
- ・ 蔦広島協会長
そのように取り計らいます。
- ・ 連盟会長
経費節約に関して運営の見直しおよび全日本サーフの将来図などを検討し、その内容を連盟会議に提案いただく機関とし「20(にいまる)委員会」を立ち上げ、委員長代行として大田事務局長を充てる。
- ・ 大田事務局長
毎年 3~5%の会員減少となっている。如何にして会員増を図るか。また、各所の運営見直しなどに議論を尽くしたい。メンバーは正式に確定していないが、決定機関では無いので少数精鋭としたい。
- ・ 連盟会長
是非前向きな提案をしていただきたい。儉約を何度も述べますが、会員さんの士気を奪うようなことは避けたい。しかし運営のどれを取っても無駄と呼べるものはありません。その中で見直しを図るのだから、不満も出るとは思いますが、全日本サーフの将来に向けてのこととご理解願います。

第 3 号議案 協会初釣り大会報告について (PT 滋賀投友会)

- ・ 片岡会長より、寒い中、事故も無く終了したとのことのお礼があった。成績表については本日配布しているので読んでおいて下さい。

第 4 号議案 SC 春季通信大会について (小山 SC 部長)

- ・ 本日申込を受け付けている、資材注文も同時に行っている。
- ・ 5 月に開催される連盟主催の協会対抗戦に参加希望者は、3 月理事会で申し込んで下さい。

第 5 号議案 第 129 回春季大会について (事務局)

- ・ 本日要項を配布しているので、内容について意見を聞く。
- ・ 会場について、「熊野会場」を追加し 9 会場とする。
- ・ 釣り開始時間に対して提案があり、議論を重ねた結果、試行として今回は前日(土曜日)の午後 6 時から釣り開始とすることが決定された。
- ・ 竿数についても提案があったが、要項通り 3 本とする。
- ・ 時間の変更により、保険代の追加が発生するかも知れなので確認をしておくが、参加費の変更も視野に入れておく必要がある。
- ・ オープン大会についても、開始時間を同じ扱いとすることが決定された。

第 6 号議案 クリーンアップ活動について (山崎環境部長)

- ・ 本日資料の配付を行った、昨年同様に淀川左岸で開催したいとの提案があり、特に意見も無いので淀川にて実施することが決定された。詳細については 3 月理事会で決める。
- ・ 地元に対しての挨拶は、協会長と環境部長にて調整し訪問する。

第 7 号議案 2011 年度収支予測と予算案について (協会長)

- ・ 会計部長欠席により、協会長より資料に基づき報告があった。本年度の収支予測については、

前年に比べて 20 万円程度の赤字となる見込みであるが、支出を見て頂いても削る項目は見あたらない、「あげしお」の発行回数を年 6 回から 4 回に変更すれば、経費を抑えられるが、各クラブへ持ち帰り会員さんの意見を聞いてほしい、会費の値上げも含めて聞いて下さい。来月の理事会で再度意見を聞きますのでよろしくお願いします。

その他

- ・連盟事業報告書の訂正箇所の報告があった。
- ・今年度の事故防止講習会について高津委員長より、今年度の内容について意見を聞き、昨年度と同じ様に開催してほしいとの希望が多かったが、日程と会場の調整がつかず今年度は各クラブ単位にて開催してもらう事で決定された。
- ・沢田広報部長より、初釣り大会の写真があれば、広報部まで提出下さいとの要請があった。
- ・山陰バトル 2011 についての大会開催の説明があった、参加締切は 3 月理事会で受付をする旨報告があった。詳細要項については、各クラブへ至急送付する。

21 時 00 分閉会